



西堀小だより

【校訓】
【教育目標】

禮儀(れいぎ) 質朴(しつぱく) 自治(じち)
やさしく かしく たくましく

4月号 令和5年4月10日発行
児童数 343名
新座市西堀 2-18-3
TEL 042 (491) 6671
FAX 042 (495) 8848



地域、保護者とともに歩み、

あいさつと笑顔あふれる学校に

校長 鈴木 勝

日に日に暖かさが増し、春らしい陽気となりました。お子様のご入学、ご進級を心よりお祝い申し上げます。本年度は53名の新生を迎え、14学級、343名で、西堀小の144年目が始まります。

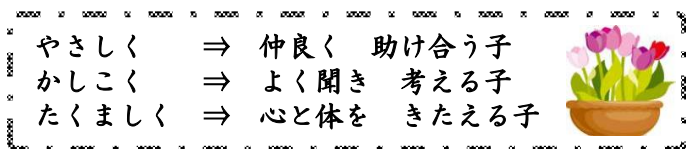
地域、保護者とともに歩み、あいさつと笑顔あふれる学校の実現に向けて、キャッチフレーズ『OUR SCHOOL』のもと、教職員全員が当事者意識と責任をもって、自分の役割を主体的に果たしてまいります。また、引き続き、ポジティブな行動支援を通して、子供たちの自己肯定感を高め、粘り強く最後まで諦めずにチャレンジできるよう指導してまいります。

今年度も本校の教育活動へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

～令和5年度の学校経営の基本的な考え方～

【学校教育目標について】

本校の学校教育目標は、「やさしく かしく たくましく」です。これは「徳・知・体」それぞれがバランスよく成長している児童になってほしいとの願いを表しています。この目標を具体的な児童の姿に置き換えてみますと、次のような児童像になります。



【年度内に実現したい具体的事項】

(1) 確かな学力をつけます

確かな学力は、子供たちに自信をつけ、自分の夢に向かって主体的に努力する大きな原動力になると思います。学校の最も大きな使命は、一人一人に、確かな学力をつけることであると考えます。学力は、「知識の量だけでなく、「考える力、判断する力、表現する力」や「自ら主体的に学ぶとともに、学んだことを生かそうとする力」を総合したものです。

学力の向上を目指し、『分かる喜び、できる楽しさを味わわせる授業』が展開できるよう授業改善に努めてまいります。また、タブレット等、ICTを効果的に活用し、『個別最適な学び』、『協働的な学び』を推進してまいります。

(2) 思いやりの心を育てます

これまで日本では、全てをはっきり言わなくても相手は分かってくれる、そんな意識を常にもってきたように感じます。しかし、海外の人とのコミュニケーションや今の社会では、それではやっていけないのも事実です。これからは、論理的に話したり、論理的な文章を書いたりすることが求められます。

しかし、そこには相手の立場を尊重する気持ち、相手を思いやる気持ちが根底になくてはなりません。そのために『読書』を奨励していきます。子供たちの読書活動については、昨年の保護者アンケートで最も達成率が低かった項目です。本を読むことで、いろいろな人間の人生、生き方を疑似体験でき、相手の気持ちを理解することができるからです。

また、豊かな人間関係を築くためには、気持ちのよい『挨拶』をしっかり身につけさせたいと思います。

さらに、互いを尊重し、安心して集団生活をするためには、ルールを守ることが大切であることを、学習規律や生活の約束を通して指導してまいります。

(3) たくましく健やかな体を育てます

たくましい子供とは、体が丈夫で強そうな姿をイメージしますが、むしろ意志が強く、継続する力を持った人がたくましいと考えます。試合に勝つことも大事ですが、その過程でつくられる体力や意志の強さが、将来を生き抜く本当のたくましさではないかと思えます。

体力の向上については、体育の授業を要とし、生涯にわたって運動に親しむ資質・能力を育ててまいります。

また、本校では特色ある教育活動の一環として、『プロ・本物から学ぶ体験活動』を行っています。昨年度は、本校の卒業生でもあり、世界陸上の短距離日本代表選手の石田智子さんをお招きして『かけっこ教室』を開催しました。今年度は、東京オリンピックの日本代表選手を予定しています。子供たちの「もうひとがんばりできる」というモチベーションを高められればと考えています。

【新6年生の準備登校より】

新年度早々の4月6日(木)に新6年生の児童が登校し、新年度を迎える準備をしました。新1年生の学級の準備はもちろん、入学式の会場の設営、そして昇降口、階段、廊下と短時間のうちにピカピカに磨き上げました。大変素晴らしかったです。また、入学式のリハーサルも行いました。その様子は、まさに最上級生の姿でした。



【新学期以降におけるマスクの着用について】

今後はマスク着用を求めないことを基本といたします。本人の意思に反してマスクの着脱を強いることがないよう配慮してまいります。

